

20 人権問題に対する気もちや考え —自由記載—

問27 あなたは人権問題に対してどのような気もちや考えをおもちですか。

(自由に書いてください)

調査票の最後に、人権問題に対しての気持ちや考えを自由に記入する設問を設けた。

この設問に対する回答者は761人であり、回答率は35.6%(761/2,138)である。

その主なものは次のとおりである。

- ・人々の心から差別意識がなくなる限り人権問題は続くと思うので、継続的に正しい人権意識の教育が必要だと思います。
- ・一人一人が差別に対して意識を高めていく(他人事ではない)し教えていくことが大切ではないでしょうか。
- ・自分自身は人権侵害をしないつもりでいるが、無意識でしていることもあるのかもしれない。そうならないためにも何が人権侵害になるのか学ばなくてはならないと思う。これからも人権研修に参加していきたいと思う。
- ・このアンケートを通して、自分の身近にある人権問題もあるが、聞いたことはあるが内容が把握出来てないこともあり、自分の知らない所で苦しんでいる方々が沢山居るのだろうと再認識した。動物と違い人間は、このアンケートでも分かるように「差別・偏見」が氾濫していて、言葉に出さか出さないかの問題もあるのかもしれないが、結局お金がものを言ったり、出身地で不利があったり、身体的なことで人と同じ事が出来なかったり、格差があったり…。つくづく人間は平等じゃないと感じる。人権問題は人類の永遠のテーマであるが、どんな手を使っても撲滅は出来ないものだと思う。ただ、自分を特別扱いたくないこと、人が人を侵害してはいけないこと、同じ人間であることを、いつも原点に立ち戻れる自分でいたいと思う。
- ・このアンケートに答えながら、あらためて人権問題について考えたし、普段の何気ない思いや行動も人権侵害しているのだと思った。人それぞれ考えはちがうけど私は、これからは思いや行動、気をつけたいと思った。
- ・いろいろな人権問題は、変化もして行く。継続して、学習、研修し現状把握とともに正しい知識と対応を身に付けなければならないと考える。被害者とならないための研修も大切で、同時に行うことが良いと考える。本調査により考えることもあり、いい機会を与えていただき、感謝します。
- ・研修などに参加する度、自分の中の差別意識に気づかされます。そんな自分と向き合いながら、本当に少しずつであっても意識をかえていけたら、人に対する言動をかえていけたら…と思って日々生活しています。自分の考えを(情けないような差別意識も含め)、夫や他の家族とも話題にしています。研修を受けたり、人と話し合ったりする機会を持ちつづけることに意味があるのではないかと考えています。
- ・子どもの頃から学校で差別の事等学習してきたし、時代が進み新たにインターネットやワーキングプア、セクハラ・マタハラ・パワハラ等いろいろな問題が出てきています。今まで「こういうものだから仕方ない」と我慢してしまう日本人の考え方が、変わってきて、声を上げる人が増え、自分が自分らしくある為の権利を主張するのは良い事だと思います。これ

からもし自分や家族の人権がおびやかされる事があったら…。特に子どもが正しく理解し、対処する為に、家族間でも話し合ったり、いつでも相談し合える関係を作りたいと思います。

・同和問題を初めとする各人権について、その立場（差別される人など）に立った考え方や痛みなどを理解しないと、解決にはならないと思います。学習（学校での）も重要だと思いますが、企業や地域でも積極的に行うこと、参加される人が少ないなど問題がありますが、継続していくことも大切だと思います。すぐ解決できない問題なので少しずつ進めばいいと思う。

・現代社会は昔に比べて人権が様々に多様化していて知らず知らずのうちに私も他人の人権を侵害しているのではないかと改めてこのアンケートで思った。年を重ねる程、自分の考えが硬直化して柔軟性がなくなっている。若い人達に偏見を持たない教育をして欲しいです。

・「個々の違いがあって、あたり前だということ」を各人が理解して、“寛容の精神”で他と接するようにするべきだと思います。そして、その価値感を、教育等を通じて、子どもに教えていくシステムを作るべきだと思います。すべては、差別する側の視野の狭さが問題なのであり、差別される側に問題があるわけではありません。そして、人権とは、人の立場の違いにより、“見方・考え方”が変化するものなので、まずは、その人それぞれの立場を、各人が、客観的に理解して、お互いの立場に立って、物事を見て考えて、自己の“良心・道徳感・信念”にそって、自らが何を言い、何を行うべきなのかを、責任を持って判断し、人に接して行くべきだと思います。

・部落問題とかそれに関する人権問題はそっとしておけば今孫のいる世代の人はあまり知っていないので自然消滅すると思います。

・同和問題について。日常、意識はしていても何事もないかぎり当たらず触らず。まわりでは、昔ほど聞かなくなったけど、地域の同和問題を取り上げられるようになってから、寝た子を起こす様な気がします。そっとしておいた方が自然で代替わりして行く事で意識しなくなるように思います。

・同和問題では黙ってる方が自然になくなると思うので教育しない方がいい。ほかのことは、特に問題を感じていない。

・次第に好転していくと思う。現に話題にふれたことがない。寝た子を起こさないほうが良い。

・人それぞれ、育ってきた環境も何もかも異なるし、100人いたら100通りの物事の見方、考え方があるので、「人権」に対する考えも決して多数決で捉えられるものではないと思う。悲観的かもしれないが、こういった問題を0にすることは無理だと思う。何故なら、自分が他人の決定をコントロールすることはできないから。ただ、「自分が他人より下の立場にいる」と自覚できていれば、他人に対して攻撃的になることもないし、不愉快な思いをさせることもないかもしれない。しかし、子どもの頃から「他人に勝つこと」を刷り込まれて育っていく人が大多数のため、やはりこういう問題はなくなることはないと思う。

・最近、あらゆる人権問題を特に意識した事もないし、又、今後自然となくなるものと思います。

・人権問題（学習）と聞くと、重い（心が）し、憂鬱になる！

・身近に差別的な事が無いものですから、人権問題がピンとこないのが実情です。

- ・現在のままで良好で特別生活に関係ありません。
- ・人権問題の研修会等で差別等の話は聞きますが、身近で聞く事は無く、つい無関心になってしまいます。
- ・部落問題については学校の授業で習ったので知っているものの、実際身の回りで差別を感じた事がないので、なぜ部落差別ができたのかを知る事は大切だと思うがその事にとらわれすぎるのもよくないと思う。都会ではもう“部落”という呼び方すらしていないと思う。鳥取でも差別的な意味で“部落”と使っている人は少なくなっていると思うので、古くからの差別を学習する事も大切だが障がいのある方やLGBTの方、インターネットでのいじめなど時代とともに増加している差別についても力を入れてほしいと思う。小学校、中学校と差別について学校で授業がありました。鳥取は同和問題の割合が多かったように思う。他県に出て進学・就職する方も多いので、そこで役立つような問題にも知識をつけたかった。
- ・部落の差別について若者はどの地域が同和地区を知らないと思うので、差別しているのであれば年配の人がしていると思う。
- ・特に部落問題や男女共同参画問題についてですが、極端というか気にしすぎのように感じます。例えば部落差別なんて、しつこく学校で教わらなければ知りもしませんでしたし、男女共同参画に関する事も、社会や家庭の中で男女の役割が違うのは当然だと思います。知識も興味もたいしてない先生や講師の授業や講演ではただただ寝た子を起こすことになりかねないのではないのでしょうか。
- ・参加してもくり返し同じ事なので参加したくないようになった。
- ・インターネットでの個人のプライバシー侵害が多いので、法律をきびしくして欲しい。今以上にきびくしないと、悪くなりそうに思う。
- ・インターネットが普及し、正しい事も誤った事も全て当たり前のように流れているので、軽々しくネットに情報をのせたら、どのように罰せられるかなど、学校教育やPTAなどにも教育すべきであるとおもいます。今は小学生でもインターネットをする時代です。子どもも人権も毎日ニュースで悲しい事件などを見て胸が痛くなります。欲しくても出来ない方もいるのに、せつかく生まれてきた子どもを簡単に殺してしまうなど考えられません。高校卒業前に、子どもに関する支援（助成、施設、相談窓口）を学ぶ機会があればいいなあと思います。今はあるかもしれませんが、私が学生の頃はありませんでしたので…。
- ・人には変わらないのに、部落差別などがあり、おかしいと思った。私の彼氏は部落の人だったが、祖母に部落の人はダメと言われ、とても傷ついた。結婚するにしてもやはり親（家庭）には温かく見守ってもらいたいので、差別はやめてほしいと思う。差別をしてはいけないと言っても、祖母は聞き入れてくれず、ダメでした。どうしたらよいか分からなかった。
- ・人権については、学生の頃とても熱心な先生がいらっしやだったので、強く印象に残っています。差別はいけないことだ！！と今でも思っています。しかし、大人になるにつれて、人が人に対して差をつけて区別してしまうことは、少なからずある事で、どうしても差別はなくならないものだと思うようになりました。自分も含めて、偏見や先入観というものは必ず発生してしまうものだと思います。しかし、それをダメなこと、恥ずかしいこと、道徳に反していることだと教育を受けて育つことは大事で、将来の大きな差別的な事件を抑えることにつながると思うので、これからも、「差別はいけない」と教え続けていくことは教育現場では

必要だと思います。なんの意味もない差別が無くなるような広い心を持った見方ができる人間が多くなればいいなと思います。

・以前は人権問題といえば同和問題のことが多かったように思います。しかし最近、多岐にわたったことも多く議論されてきました。どれも大切なことだと思います。親自身が理解することが子どもにきちんと情報を伝えられると感じています。親教育が大事だと思います。頭の中で考えたりすることは、大変ですが、自分には関係ない、自然となくなる、私の身のまわりには起こってないと考えてはいけないと思います。今は大変な時代、何が起こるかわからない時代、いつでも当事者になりうることはあると感じています。

・「氏」や「育ち」が違って同じ人間であり、誰もが世間に関わって生活しているのです。「偏見」や「差別」は、一朝一夕には無くならないかも知れません。しかし、無くする努力は、自治体が主体的に継続することにより市民に徐々であっても浸透するでしょう。

・社会全体が狭量になっていると感じる。自分自身のイライラ、不満を他の人への攻撃でまぎらしている人がいるような気がする。(具体的に誰とはいえないが)人と自分の多少の違いを認め合って互いに大切にしようとする大人の人が増えたらいいと思う。一人一人が大らかで心の自立した大人になったら、そんな大人に育てられた子どもも心の安定した人になるのではないかと思う。そして願う。

・いわれなき差別は悪いとは思いますが、人間というもの好き、嫌いという感情を持つ生き物なので、差別が完全になることは無理だとも個人的には思います。ただ集団で個人を攻撃したりすることは絶対に許せない事だと思います。あとはやはり自分が相手の立場だったらどうなのか、思いやりを持って人に接する事、相手を理解しようと思う気持ちが大切なのではないのでしょうか。区別と差別の違いというものも理解すべきだと思います。年令的な差別については、私はいつも“怒るな来た道、笑うな行く道”という言葉を中心に言いかせています。

・性別、男・女だけはおかしい。

・人権問題として、夫婦同姓の強制問題を取り上げてほしい。性の変更で、アイデンティティの喪失感を抱いたり、社会的信用や評価の維持が難しくなる。そしてそれは、圧倒的に女性が多い。選択的夫婦別姓を導入しないのは、人権問題(基本的人権の侵害)だと思う。

・人権問題といっても沢山ありすぎて、その時その時初心にもどり考えていく事が必要だと思う。

・私は派遣社員として仕事をしておりますが、わかった事は、今の会社制度、派遣・外注…他の犠牲の上に成り立つ幸福。利益追求。もし社員にしてやると言われても、その片棒を担ぎたくない。現代の人権問題だと思います。私も含め、皆の精神の向上を願います。

・人権問題は人対人の関係なので難しいと思いました。いじめから始まり子ども・大人・老人すべて毎日何かの事件が起きているように、複雑な世の中になって来ました。自分では人を大切にしていると思っていても、相手の心の中まで読みきれず悩むことが多々あります。子どもの頃から人の権利として教えていかなければ、大人になって自分の子ども・妻などを認めていけない人間になって来ます。テレビなどをみていると胸が痛むことが多い日々です。大人がよくないように思います。

・知的障がい者をかかえている家族です。これまで政治が様々な障がい児者の改正をされて

きました。その中で、社会、地域への自立支援法について、どこにその場所があるの？行けるところはある？『自立支援』と言葉だけが作られ、その内容はどこにも見つかりません。教育、就労について分けられている現実がある中、この子らが自立できる場はあるのでしょうか。障がい者を持つ家族の将来の不安、お金では解決できないものであります。支える心、守る心、家族の心、そこを理解していただけないと、自立できる場は作れないと思います。

- ・突然、病気で倒れ、障害等級 1 級の認定を受けました。その後の職場等の対応他、気持ちはよく分かります。明日は「あなただよ」と思うと大事にしないといけないと感じています。

- ・いじめ問題でもそうであるが見て見ぬふりをするのも被差別の人にとっては差別者であることをもっと啓発してほしい。

- ・近年、貧困問題による孤独死、子どもへの虐待、老々介護など心痛む課題が多くみられます。確かに人権問題は大事ですが、他にも市民レベルで議論を重ねるべき課題も多くあることを忘れてはいけないと思います。

- ・子どもが中学入学時に制服購入案内のDMが届き、どこから住所を取得したのかと不安な気持ちになった。今時、まだ名簿の取引があるのでしょうか。

- ・人が人を育てていかないと、良い方向へ呼び戻す、お互いそうし合わないと、気付いてない人には気付かせるし、私のように知らなくて答えられない人もいるので、子ども時代からの定期的な学習は必要だし、正しい知識、人の道を教え導いてほしい。私自身そうしてほしかった。間違っても、この用紙に書いてきた様な、人の持つ邪悪な部分を私に見せないでほしかったです。今から、今も、良くするため、一人残らず幸せになって頂くためには、不断の努力（努力し続ける）が必要だなと。自分自身の見聞を広げないと…学習は、大人になってからでも出来るけれど…心を養うことはとっても必要。教え合える世の中に。心の勉強。心力をつける。ずっと続けていくこと。心のいやし、守ってくれるもの。安全な場の提供。居場所を考える。自分も相手も認めること。共存。

- ・私もマタニティハラスメントを受けたことがあります。雇う側と雇われる側では違うかもしれませんが、お互い気持ち良く働きたいです。差別のない社会になりますように。